

2007年2月5日

各 位

三井化学株式会社

タイ TPP 社向けポリプロピレン製造技術ライセンス契約締結について

当社(社長:藤吉 建二)は、タイ・サイアムセメントグループの SCG Chemicals Co., Ltd.(SCGケミカル社:旧 CCC 社、以下「SCGCh」社。社長:Mr. Cholanat Yanaranop) 傘下の Thai Polypropylene Co., Ltd.(タイポリプロピレン社:以下「TPP 社」。社長:Mr. Sommai Sirilertsombat) と、同社のポリプロピレン製造 No.3 プラント向け技術ライセンス契約を 2007 年 1 月 31 日に締結致しました。本プラントは、SCGCh社が計画を進めている No.2 クラッカープロジェクトの主力誘導品プラントのひとつです。

< 技術ライセンスの概要 >

- | | |
|--------------|--|
| 1. ライセンス対象技術 | 当社保有のポリプロピレン(*)製造技術「ハイポール 法」
*:自動車部品、包装材料等の素材として利用される樹脂
(以下「PP」) |
| 2. 対象プラント | TPP 社 PP 製造 No.3 プラント (生産能力 : 年産 40 万トン) |
| 3. プラント建設地 | タイ国 ラヨン県 |
| 4. プラント完工 | 2010 年中(予定) |

当社は TPP 社に対して No.1 プラント、No.2 プラントのライセンスを既に実施しております。No.3 プラントは、当社大阪工場稼働中の最新鋭プロセス(年産 30 万トン)をベースとした世界最大級の年産 40 万トンプラントであり、これにより同社の総 PP 生産能力は年産 72 万トンとなります。

今回の TPP 社による当社技術の採用は、自動車部品等高度な物性要求にも対応できる高い技術力が評価されたことによるものです。SCGCh社は、年産 40 万トン高密度ポリエチレンプラントの建設も計画しており、これにも当社スラリー法ポリエチレン製造技術の採用が決定しています(SCGCh社傘下の Thai Polyethylene Co., Ltd.(タイポリエチレン社)が実施)。

当社は、今般作成したグランドデザイン(三井化学グループの経営の基本骨格)の中で、「化学」「革新」「夢」の三井化学、すなわち絶えず革新を追及し、化学のちからで夢をかたちにする企業グループを目指しております。今後も積極的にライセンス供与を行うことで、この実現を図っていきたいと考えております。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 時枝 龍 (電話 : 03-6253-2100)

< SCG Chemicals Co., Ltd.の会社概要 >

1. 事業内容: サイアムセメントグループの化学企業を統括する持ち株会社

2. 本社所在地: タイ バンコク市

3. 資本金: 約 71 億バーツ (約 213 億円)

4. 傘下の化学企業の主要石化プラントの現有生産能力 (年産)

エチレン	80 万トン	プロピレン	40 万トン
HDPE(当社技術)	56 万トン	HDPE/LLDPE	42 万トン
PP(当社技術)	32 万トン	LDPE	10 万トン

5. 傘下の化学企業の新設計画 (年産) (2010 年完工予定)

エチレン	90 万トン	プロピレン	80 万トン
HDPE(当社技術)	40 万トン	LLDPE	30 万トン
PP(当社技術)	40 万トン		